

青春の実験箱

小田原市立城山中学校

第3学年通信

第2号

2021年6月1日(火)

学校のリーダーとして活動する

ゴールデンウィークが明けて若葉が茂るさわやかな風が吹く中で、5月の学校生活が始まりました。長い休日を終えてリフレッシュできた生徒たちは授業や部活動などで元気な姿をたくさん見せてくれています。

先週の月曜日に1年生が足柄ふれあいの村へ遠足に出かけ、カレーライス作りやドッジボールなどで親睦を深めてきました。ちょうど2年前、私たちもカレーライスを作ったことを懐かしく思い出しました。また、木曜日は全国学習状況調査を行い、国語と数学の検査を受けました。検査に取り組んでいる生徒たちの表情はみんな真剣で、終了のチャイムが鳴る瞬間までしっかりと問題に取り組んでいました。後日送られてくる結果がとても楽しみです。

今日からは6月が始まります。運動会、定期テストなど、3年生にとって大切な行事が控えています。運動会を経験していない1・2年生が安心して運動会当日を迎えるためには、3年生の力が必要です。これからの10日間のみなさんの学校のリーダーとしての活躍を期待しています。

<進路説明会を終えて>

5月12日(水)、多くの保護者の皆さまに参加していただき進路説明会を開催しました。ご協力をありがとうございました。説明会は3月にも行い重複する内容もありましたが、生徒は新たな気づきもあったようです。

私は1月に宮城県から神奈川県に引っ越してきました。神奈川県の入試制度については調べてはいましたが、わからないことの方が多く、とても不安でした。しかし、進路説明会を聞き、神奈川県には宮城県にはなかった「面接」とその前に「面接シート」を記入しなければならないことがわかりました。また、入試制度についての詳細を知ることができ、私の不安が晴れていきました。今



後、気をつけていきたいことが2つあります。1つめは提出物です。私は提出物をギリギリに終わらせる悪癖があります。もっと余裕をもって取り組んでいきたいです。2つめは立てた勉強計画を実行することです。計画を立てても忘れたりして後回しにしてしまうので、きちんと勉強時間を決めてやっていきたいです。受検まで残り約10ヶ月、一日一日を大切にし、日々精進していきたいと思います。(3組 Y. Hさん)

私は進路説明会を聞いて気づいたことが3つあります。1つめは、高校にはたくさんの選択肢があるということです。全日制、定時制、通信制に分かれていたり、専門学科、総合学科にも分かれていたりすることを知りました。専門学科では、農業、商業、看護などがあり、専門的に学べてすごくよいと思いました。2つめは、高等専修学校があるということです。高等専修学校は、高等学校とは違い技術、技能を身につけて公的資格を得るなど、職業生活、実際の生活に必要な能力を育成したり、教養の向上を図ったりすることを目的とする高校ということがわかりました。3つめは、特色検査をする学校があるということです。特色検査は学校によって内容が違いスピーチをするなど、自己表現する場があるということを知りました。進路説明会ではいろいろな高校のことを知ることができて、本当によかったと思います。進路説明会で聞いたことを忘れずに、これから自分の行きたい高校をしっかりと選び、決まったらそこに向けて頑張っていきたいと思いました。(3組 M. Kさん)

自分は今回進路説明会を聞いて、受験が迫っていること、自分はもうすでに受験生だということを実感することができました。受験は来年の2月に行われます。つまり、受験当日まで1年もないということです。そのために自分で予定を立てるのを積極的に行っています。自分は予定を立てるのにエクセルというアプリを使って、1週間分の予定を立てています。予定を立てることによって、計画的に勉強がスムーズにできるようになったので、みんなもやってみることをオススメします。受験は親のためでも友達のためでもなく、自分のためにやるものです。だから、みんなで学習環境をより良いものにして頑張りましょう。(1組 T. Tさん)



私は進路説明会で話を聞いて、前回の説明会よりも詳しく普通科の学校や専門学科の学校のこと。選抜方法などを知ることができてよかったと思います。気づいたことはインクルーシブ教育実践推進校や専門学科の学校が意外とたくさんあると感じました。専門学科だといろいろな種類の分野の高校があるので、とてもびっくりしました。私立の高校も前回より内容が詳しくなっていて、私立の高校はどこにどんな学校があるのか、あまりわからなかったので知ることができてよかったです。そして、それぞれの高校の重点化している項目などもわかったので、それも考えながら自分がどれを頑張ったらいいいのかもわかるので、とても勉強になりました。私はまだ明確に行きたい高校が決まっていなくて、これもふまえて考えていければと思います。そして、この学校に行ったらよかったと思えるような高校を選ぶようにたくさん調べて、高校のことを知っていければいいなと思います。目標に向かって勉強を頑張りたいと思います。(2組 M. Nさん)

僕は進路説明会を聞いて気づいたことが2つあります。1つ目は、進路説明会の良さについてです。なぜ、進路説明会の良さに気づいたかというと、僕が1年生の時に先輩との話の中で、進路説明会のことを何も知らなくて困ってしまいました。でも、2年生になり少しずつわかってきて、2年生の最後に行われた進路説明会でいろいろなことを知り、進路のことを真剣に考えることができました。2つ目は、一つ一つの勉強のことで人の前で話すことを大事にすることです。まず、一つ一つの勉強を大事にすることについては、勉強をすることにより、高校に入ってもついていける集中力を身につけて成績を一つでも上げることができます。次に、人の前で話すことを大事にすることについては、面接でどんなことを質問されても答えられるように自分の主張をしっかりと伝えられるようにしたいと思います。この2つのことを意識して、家族と真剣に話し合って志望校を決め、合格できるように頑張りたいと思います。(1組 K. Aさん)

僕が2回の進路説明会を通して感じたことについて、書いていきたいと思います。まず1回目の進路説明会では、高校の選抜制度や調査書について、さらには授業料などの金額まで説明されました。その中で感じたことは、高校からの評価のされ方などについても理解しておきたいと思いましたが、一番感じたことは決めるのは自分だということでした。僕は親に勧められた高校をなんとなく志望していただけなので、自分に合った高校を親や先生と話し合っ

て見つけたいと強く感じました。2回目の進路説明会では、学習形態やそれぞれの科の違いについて1回目より詳しく説明され、さらにいろいろな分野の高校が紹介されました。総合的な学習でも8つの専門学科について学んだため、さらに興味がわきました。2回の進路説明会で感じたことは、成績を上げて受験勉強に励みながらもホームページなどから自分に合った高校を見つけ、そこに合格できるように一生懸命学校生活を送っていきたいということでした。10月にも進路説明会があるので、そこでも高校について詳しく知り、受験に向けて頑張っていきたいです。(2組 R. Nさん)

◆誰もが悩んで進路を乗り越えていく

具体的な話が進めば進むほど、生徒たちの中には、将来のこと、成績のこと、受験校のことなど進路に対する不安な材料が増えていきます。しかし、自分の進路に対して悩むことはとても大切なことだと思います。少しも悩まずに他人任せで進路を決定したり、何も考えずにとりあえず受験したりしたら、むしろ問題ではないでしょうか。自分で悩み抜いて出した進路に向けて、悔いの残らないように努力してほしいと願っています。

「不安だ」「自信がない」「どうしたらよいかわからない」と焦るばかりでは前に進むことはできません。大切なのは目の前にあることに一生懸命に取り組むことです。授業に集中すること、家庭学習を充実させること、委員会や係の仕事に責任を持つこと、部活動やクラブ活動に熱中すること、一つ一つを無駄にしないでしっかりと取り組むことが、学力そして自信をつけることになり、進路を乗り越える糧にもなります。



保護者の眼差し

この学年通信を通して、生徒、保護者、教師の相互の結びつきに役立てばと思っています。地域や家庭での生徒の様子をはじめ、日常感じられたことを400字前後の文字にまとめてお知らせください。ペンネームの原稿も歓迎します。よろしく願います。担当は石井秀知(TEL 34-0209)です。

